

令和3年度  
川越市空家等実態調査  
報告書  
【概要版】

令和4年6月

川越市

# 第1章 空家等実態調査

## 1. 調査の概要

### (1) 調査目的

空家等対策の推進に関する特別措置法（平成26年法律第127号）に基づき、川越市内の空家等について現地調査を実施し、その実態を把握するとともに、前回調査（平成28年度）からの状況変化を調査し、調査結果のデータ整理を行い、空家等対策計画の策定及び今後の空家等対策の基礎資料とすることを目的とする。

### (2) 調査対象件数

4,166件

【内訳】	ゼンリン空家コンテンツ	785件
	現地調査時追加	140件
	水道閉栓情報	912件
	前回調査	2,071件
	前回調査以降	258件
	合計	4,166件

### (3) 調査方法

#### 【調査対象】

下記の情報を精査・統合し、重複・解体物件を除いて、実態調査の対象とした。

- ① 前回H28年度実施の実態調査時に空家等の可能性が高いとされた箇所
- ② 前回H28年度実施の実態調査以降に発見された箇所
- ③ 水道閉栓情報等をベースとした市作成の空家等候補リスト
- ④ 『ゼンリン住宅地図川越市』作成時の現地調査にて取得した、利用状況が定かでないと思われる建築物（ゼンリン想定空家情報）
- ⑤ 今回の現地調査中に発見、取得した箇所

#### 【現地調査】

調査員が、現地にて対象物件を公道からの外観目視により調査項目を確認。同時に対象建築物の近景・遠景及び破損箇所等の撮影を実施。

### (4) 現地調査完了件数

現地調査が完了した2,434件を、想定空家等（空家等の可能性が高い建物）とした。

【算出】	調査対象	4,166件 …①
	居住実態あり	1,263件 …②
	更地	460件 …③
	調査不可（立入禁止など）	9件 …④
	調査完了件数（①-②-③-④）	2,434件

## 2. 自治会別想定空家等集計

想定空家等(空家等の可能性が高い建物)2,434件について、自治会別件数を前回(平成28年度調査)件数と共に以下のとおり記す。

【参考】平成28年度調査時に空家等の可能性が高いとした建物:2,365件

### ■本庁管内想定空家等集計

(件)

地区名	自治会名	件数	前回数	増減	合計	前回計	合計増減
第1支会	喜多町	4	1	3	82	83	▲ 1
	志多町	5	5	0			
	神明町	21	22	▲ 1			
	宮下町1丁目	8	10	▲ 2			
	宮下町2丁目	6	9	▲ 3			
	宮元町	31	28	3			
第2支会	城下・氷川町	7	8	▲ 1	50	53	▲ 3
	石原町1丁目	8	9	▲ 1			
	石原町2丁目	13	13	0			
	幸町	3	2	1			
	末広町1丁目	5	9	▲ 4			
	末広町2丁目	3	4	▲ 1			
	末広町3丁目	9	11	▲ 2			
	仲町	6	5	1			
	元町2丁目	3	0	3			
第3支会	上野田町	13	10	3	125	88	37
	田町	5	2	3			
	野田町1丁目	20	10	10			
	野田町2丁目	6	4	2			
	東田町	5	6	▲ 1			
	今成1丁目	8	3	5			
	今成2・3丁目	12	14	▲ 2			
	今成4丁目	19	25	▲ 6			
	小ヶ谷	20	7	13			
	小室町	17	7	10			
第4支会	大手町	11	8	3	66	73	▲ 7
	久保町	6	5	1			
	郭町1丁目	13	13	0			
	郭町2丁目	7	6	1			
	三久保町	15	16	▲ 1			
	松江町1丁目	7	14	▲ 7			
	松江町2丁目	2	0	2			
	元町1丁目	4	7	▲ 3			
	杉下町	0	0	0			
	伊佐沼新町	1	4	▲ 3			
第5支会	小仙波町1丁目	3	7	▲ 4	34	49	▲ 15
	小仙波町2丁目	8	5	3			
	小仙波町3丁目	3	3	0			
	小仙波町4丁目	2	4	▲ 2			
	小仙波町5丁目	2	11	▲ 9			
	西小仙波町1丁目	6	6	0			
	西小仙波町2丁目	10	13	▲ 3			
第6支会	新富町1丁目	1	0	1	17	21	▲ 4
	新富町2丁目	0	2	▲ 2			
	通町	4	3	1			
	南通町	9	9	0			
	脇田町	3	7	▲ 4			
第7支会	仙波町1丁目	3	2	1	52	54	▲ 2
	仙波町2丁目	13	14	▲ 1			
	仙波町3丁目	10	13	▲ 3			
	仙波町4丁目	9	6	3			
	富士見町	5	6	▲ 1			
	菅原町	8	9	▲ 1			
	大仙波	4	4	0			
第8支会	岸町1丁目	24	16	8	47	42	5
	岸町2丁目	13	12	1			
	岸町3丁目	10	14	▲ 4			
第9支会	旭町1丁目	12	15	▲ 3	63	63	0
	旭町2丁目	7	4	3			
	旭町3丁目	31	30	1			
	広栄町	4	2	2			
	脇田新町	6	9	▲ 3			
	脇田本町	3	3	0			
第10支会	三光町	11	6	5	48	53	▲ 5
	月吉町	7	6	1			
	中原町1丁目	4	11	▲ 7			
	中原町2丁目	4	8	▲ 4			
	連雀町	11	9	2			
	六軒町1丁目	4	2	2			
	六軒町2丁目	4	5	▲ 1			
	野田月吉町	3	6	▲ 3			
第11支会	新宿町1丁目	6	5	1	51	64	▲ 13
	新宿町2丁目	11	10	1			
	新宿町3丁目	4	4	0			
	新宿町4丁目	4	8	▲ 4			
	新宿町5丁目	5	6	▲ 1			
	新宿町6丁目	21	31	▲ 10			
本庁管内合計					635	643	▲ 8

支会別に見ると、第3支会は前回調査から142%、2桁の増加となっているが、第5支会及び第11支会においては、それぞれ69%、80%と2桁の減少となっている。また、自治会別に見ると、野田町1丁目自治会、小ヶ谷自治会、小室町自治会で前回調査から2桁の増加となっているが、新宿町6丁目自治会では2桁の減少となっている。本庁管内全体では、前回調査より8件の減少となっている。

■芳野地区想定空家等集計

(件)

地区名	自治会名	件数	前回件数	増減	合計	前回計	合計増減
芳野地区	北田島	4	4	0	29	37	▲ 8
	谷中	2	5	▲ 3			
	菅間上	0	0	0			
	菅間中・下	3	2	1			
	石田本郷	3	9	▲ 6			
	石田本郷新田	0	0	0			
	鴨田第1	5	8	▲ 3			
	鴨田第2	4	2	2			
	鴨田第3	0	1	▲ 1			
	伊佐沼	2	0	2			
	鹿飼	1	1	0			
	上老袋	3	2	1			
	中老袋	1	2	▲ 1			
自治会区域外	1	1	0				

芳野地区全体の件数は、前回調査の78%と全体的に減少している。

■古谷地区想定空家等集計

(件)

地区名	自治会名	件数	前回件数	増減	合計	前回計	合計増減
古谷地区	二ノ関	1	3	▲ 2	38	46	▲ 8
	沼端	2	4	▲ 2			
	宿	7	9	▲ 2			
	堀之内	0	0	0			
	古川端	2	2	0			
	黒須	1	2	▲ 1			
	蔵根	4	8	▲ 4			
	古谷本郷上	5	4	1			
	古谷本郷下	2	2	0			
	小中居	5	4	1			
	大中居	4	2	2			
	高島	1	0	1			
	八ツ島	0	0	0			
	下老袋	4	5	▲ 1			
	東本宿	0	1	▲ 1			
グリーンフィールド	0	0	0				

自治会ごとの増加件数では最大でも2件となっており、古谷地区全体では減少数が上回っている状況である。

■南古谷地区想定空家等集計

(件)

地区名	自治会名	件数	前回件数	増減	合計	前回計	合計増減
南古谷地区	南田島	3	3	0	118	142	▲ 24
	牛子	6	7	▲ 1			
	木野目	5	6	▲ 1			
	並木	10	7	3			
	今泉	5	4	1			
	上久下戸	8	11	▲ 3			
	下久下戸	1	3	▲ 2			
	宮本	1	4	▲ 3			
	萱沼	2	2	0			
	渋井	4	2	2			
	古市場	27	30	▲ 3			
	南古谷団地	4	7	▲ 3			
	さくら堤	5	9	▲ 4			
	川越ハイツ	8	16	▲ 8			
	わかば台	16	18	▲ 2			
	木野目藤木	9	9	0			
	あゆみ	0	0	0			
	河原町	1	1	0			
	あすなろ	2	3	▲ 1			
	泉	1	0	1			

減少自治会数11自治会に対し増加自治会数4自治会、5自治会で現状維持となっており、全般的に減少傾向となっている。特に川越ハイツ自治会の件数は前回調査の50%と半減している。

■高階地区想定空家等集計

(件)

地区名	自治会名	件数	前回件数	増減	合計	前回計	合計増減
高階地区	藤間原	7	6	1	464	387	77
	藤間上	23	16	7			
	藤間中	1	1	0			
	藤間下	5	3	2			
	藤間東	14	15	▲ 1			
	富士ヶ丘	10	12	▲ 2			
	藤間南	46	23	23			
	稲荷町	26	21	5			
	熊野町	12	9	3			
	清水町	6	6	0			
	諏訪町	9	10	▲ 1			
	藤原町	8	13	▲ 5			
	富士見	19	15	4			
	寺尾第1	29	17	12			
	寺尾第2	24	16	8			
	寺尾第3	25	14	11			
	寺尾第4	32	24	8			
	砂新田下	5	6	▲ 1			
	砂新田南	12	18	▲ 6			
	武蔵野	23	26	▲ 3			
	五ツ又	25	23	2			
	砂新田1丁目	6	9	▲ 3			
	砂新田若樹	2	3	▲ 1			
	砂新田3丁目	16	17	▲ 1			
	砂第1	21	16	5			
	砂第2	17	13	4			
	砂第3	6	5	1			
	砂弁天	6	8	▲ 2			
	高砂	7	14	▲ 7			
	新河岸	12	5	7			
旭住宅	5	0	5				
砂新田2丁目	5	2	3				
自治会区域外	0	1	▲ 1				

藤間南自治会、寺尾第1自治会、寺尾第3自治会において、前回調査から2桁の増加となっている。一方、藤原町自治会、砂新田南自治会、砂新田1丁目、砂新田若樹自治会、高砂自治会では、前回調査の70%以下となったが、全体では前回調査の120%、77件の増加となっている。

■福原地区想定空家等集計

(件)

地区名	自治会名	件数	前回件数	増減	合計	前回計	合計増減
福原地区	下赤坂上	12	10	2	168	175	▲ 7
	下赤坂下	1	3	▲ 2			
	大野原	11	11	0			
	武蔵町	14	10	4			
	中福南	4	5	▲ 1			
	中福北	4	3	1			
	上松原	9	16	▲ 7			
	下松原上	5	5	0			
	下松原下	3	2	1			
	今福上	9	8	1			
	今福下	14	10	4			
	今福原	17	23	▲ 6			
	霞町	9	16	▲ 7			
	中台元町	11	6	5			
	中台	6	10	▲ 4			
	中台南	12	9	3			
	砂久保	12	8	4			
	中台つつじヶ丘	8	6	2			
	今福北	7	14	▲ 7			

今福北自治会で前回の50%、上松原自治会、霞町自治会でともに前回調査の56%、3自治会とも件数で7件の減少であるが、武蔵町自治会、今福下自治会、中台元町自治会、砂久保自治会において、件数で10件以上かつ前回調査から140%超の増加となっている。福原地区全体では、若干減少した。

■大東地区想定空家等集計

(件)

地区名	自治会名	件数	前回件数	増減	合計	前回計	合計増減
大東地区	南大塚	48	49	▲ 1	224	216	8
	向ヶ丘	1	1	0			
	緑ヶ丘	14	13	1			
	大塚新田	58	43	15			
	寿町1丁目	22	21	1			
	寿町2丁目	0	0	0			
	豊田町	6	19	▲ 13			
	豊田本	4	7	▲ 3			
	池辺	4	2	2			
	大袋	19	18	1			
	増形	4	0	4			
	日東町	8	11	▲ 3			
	大袋新田	10	7	3			
	山城	2	2	0			
	高橋	1	2	▲ 1			
	藤倉	3	2	1			
	猪鼻	5	4	1			
かし野台	7	3	4				
南台2丁目	6	10	▲ 4				
南台3丁目	2	2	0				

大塚新田自治会にて前回調査から2桁の増加となっているが、豊田町自治会にて2桁の減少、大東地区全体では前回調査の104%、8件の増加に留まっている。

■霞ヶ関地区想定空家等集計

(件)

地区名	自治会名	件数	前回件数	増減	合計	前回計	合計増減
霞ヶ関地区	的場下組	19	17	2	251	233	18
	的場中組	15	18	▲ 3			
	的場上組	22	15	7			
	安比奈新田	13	10	3			
	大町	9	8	1			
	芳地戸	1	1	0			
	新町	4	3	1			
	本町	5	2	3			
	協栄	6	0	6			
	西部	5	5	0			
	大笠	12	12	0			
	上野	16	12	4			
	倉ヶ谷戸	19	16	3			
	川越グリーンタウン	11	12	▲ 1			
	山伝	32	33	▲ 1			
	水久保	10	12	▲ 2			
	かすみ野	30	32	▲ 2			
	笠幡台	6	5	1			
	的場1丁目	10	11	▲ 1			
	的場2丁目	5	9	▲ 4			
花の街	1	0	1				
笠幡の森	0	0	0				

霞ヶ関地区全体で前回調査からの増加率が10%以下と、概ね現状を維持する状況である。

■霞ヶ関北地区想定空家等集計

(件)

地区名	自治会名	件数	前回件数	増減	合計	前回計	合計増減
霞ヶ関北地区	霞ヶ関北	80	94	▲ 14	165	192	▲ 27
	霞ヶ関東急ニュータウン	25	39	▲ 14			
	霞ヶ関東	20	18	2			
	霞ヶ関西	17	12	5			
	みなみ	12	16	▲ 4			
	伊勢原町1丁目	2	4	▲ 2			
	伊勢原町2丁目	3	2	1			
	伊勢原町3丁目	2	5	▲ 3			
	伊勢原町4丁目	4	2	2			
	伊勢原町5丁目	0	0	0			

霞ヶ関北自治会、霞ヶ関東急ニュータウン自治会において、前回調査からそれぞれ2桁の減少により、霞ヶ関地区全体で前回調査の86%となっている。

■名細地区想定空家等集計

(件)

地区名	自治会名	件数	前回件数	増減	合計	前回計	合計増減
名細地区	鯨井	7	4	3	211	186	25
	上戸	26	18	8			
	吉田	6	8	▲2			
	みよしの	7	9	▲2			
	天沼新田	15	11	4			
	小堤	10	13	▲3			
	小堤区	12	5	7			
	天金山	3	3	0			
	下広谷北	9	7	2			
	下広谷南	46	44	2			
	下小坂	4	2	2			
	平塚	2	3	▲1			
	平塚新田	3	1	2			
	鯨井新田	6	4	2			
	みどり会	26	23	3			
	広谷新町	9	14	▲5			
	住友あおい	2	2	0			
	つくし	6	2	4			
	ファミリータウン春日	4	5	▲1			
	小堤東団地	8	8	0			
天沼新田グランシア	0	0	0				

名細地区全体では、各自治会微増傾向にある。

■山田地区想定空家等集計

(件)

地区名	自治会名	件数	前回件数	増減	合計	前回計	合計増減
山田地区	上寺山	16	16	0	111	91	20
	寺山	7	6	1			
	福田	20	6	14			
	山田西町	8	8	0			
	北山田	7	7	0			
	南山田	34	35	▲1			
	府川	12	10	2			
	石田	7	3	4			

減少した自治会は南山田自治会の▲1件のみで、山田地区全体では前回調査の約120%、20件の増加となっている。

■川鶴地区想定空家等集計

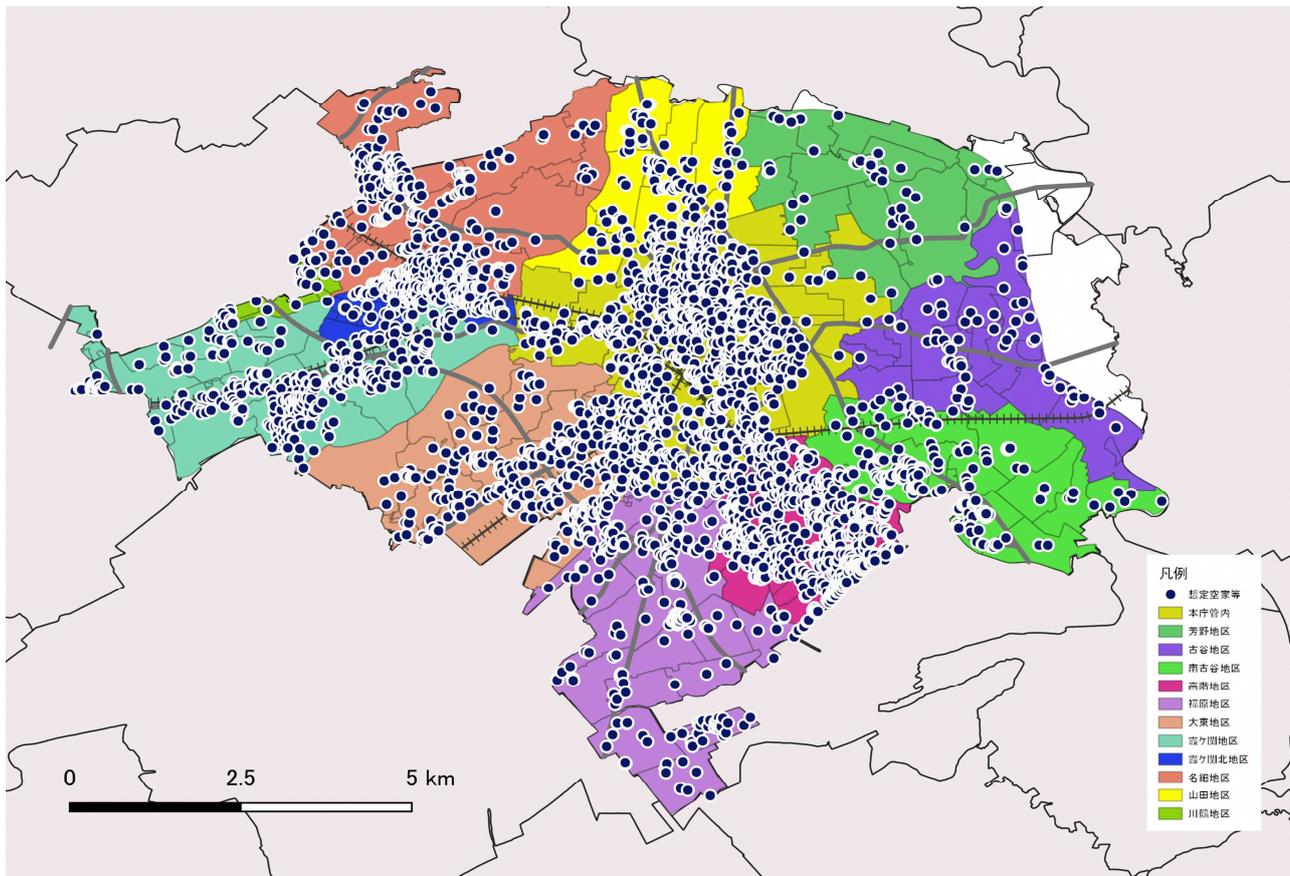
(件)

地区名	自治会名	件数	前回件数	増減	合計	前回計	合計増減
川鶴地区	川鶴	11	9	2	20	17	3
	吉田新町	9	8	1			

川鶴地区全体では、前回調査から3件の増加に留まっている。

### 3. 想定空家等分布図

想定空家等(空家等の可能性が高い建物)2,434件について、川越市内における分布状況を以下のとおり記す。



## 第2章 空家等所有者等意向調査

### 1. 調査の概要

#### (1)調査目的

空家等対策の推進に関する特別措置法（平成26年法律第127号）に基づき実施する川越市空家等実態調査（以下「実態調査」という。）の一環として、空家等とした建物の所有者等に対する意向調査及び調査結果のデータ整理を行い、空家等対策計画の策定及び今後の空家等対策の基礎資料とすることを目的とする。

#### (2)調査対象

現地調査で特定した想定空家等（空家等の可能性が高い建物）2,434件について、市で所有者特定を行い、居住実態等があることが判明した箇所と所有者が海外在住の箇所等を除き、2,158件の所有者等（納税義務者）を対象とした。

### 2. 調査票の送付・回収、集計

#### (1)送付・回収状況

アンケート調査票の送付・回収状況は、次のとおりである。

【発送数】 2,158件

【回収数】 1,086件

【回収率】 50.3%

また、件数の内訳は下記のとおりである。

項目		件数
アンケート送付件数		2,158件
アンケート回収件数		1,086件
空き家ではない		537件
内訳	問1 ③売却、譲渡または解体済み(予定)である	(84件)
	問2 ①常に住んでいる(空き家ではない)	(233件)
	問2 ②週( )日程度使っている	(107件)
	問2 ③月( )日程度使っている	(112件)
	問15のコメント「売却済」	(1件)
空き家である(上記以外)		549件
アンケート未達(郵送戻り)		107件
アンケート未回答		965件

### 3. アンケート回答結果

アンケート回答結果について、代表例として4つの設問について以下のとおり記す。

#### 【問2】建物の利用頻度(1つ選択)

	件数	割合
①常に住んでいる(空き家ではない)	233件	23.5%
②週( )日程度使っている	107件	10.8%
③月( )日程度使っている	112件	11.3%
④正月やお盆などのみ使っている	35件	3.5%
⑤利用していない(空き家である)	348件	35.1%
⑥その他	156件	15.7%
計	991件	100.0%

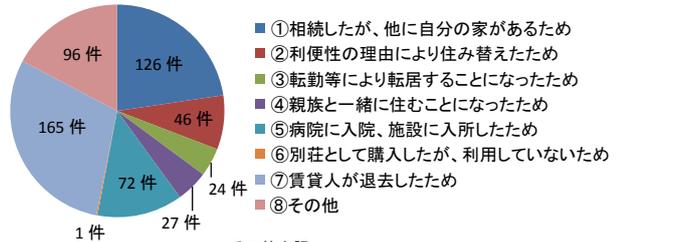
※①②③の選択で回答終了



※上位件数のみ記載/「1~2」は「2」としてカウント

#### 【問4】建物を利用しなくなった経緯(複数選択可)

	件数	割合
①相続したが、他に自分の家があるため	126件	22.6%
②利便性の理由により住み替えたため	46件	8.3%
③転動等により転居することになったため	24件	4.3%
④親族と一緒に住むことになったため	27件	4.8%
⑤病院に入院、施設に入所したため	72件	12.9%
⑥別荘として購入したが、利用していないため	1件	0.2%
⑦賃貸人が退去したため	165件	29.6%
⑧その他	96件	17.2%
計	557件	100.0%



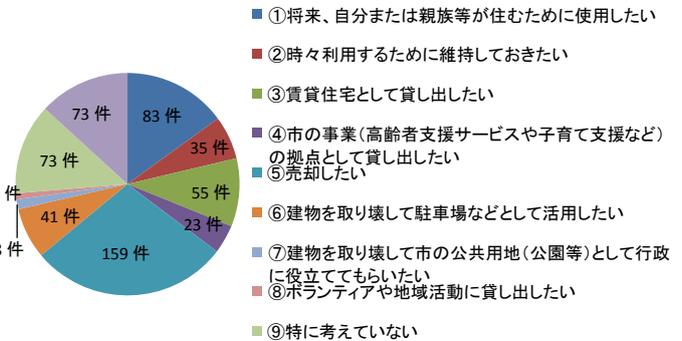
その他内訳

転居、転動	22件	コロナ禍の為	8件
相続問題	14件	廃業	7件
利用中	12件	賃貸中	4件
入居者の逝去	11件	近隣トラブル	3件

※カテゴリ分類できた上位件数のみ記載

#### 【問10】建物の今後についての考え(1つ選択)

	件数	割合
①将来、自分または親族等が住むために使用したい	83件	15.0%
②時々利用するために維持しておきたい	35件	6.3%
③賃貸住宅として貸し出した	55件	9.9%
④市の事業(高齢者支援サービスや子育て支援など)の拠点として貸し出した	23件	4.1%
⑤売却したい	159件	28.6%
⑥建物を取り壊して駐車場などとして活用したい	41件	7.4%
⑦建物を取り壊して市の公共用地(公園等)として行政に役立ててもらいたい	8件	1.4%
⑧ボランティアや地域活動に貸し出した	5件	0.9%
⑨特に考えていない	73件	13.2%
⑩その他	73件	13.2%
計	555件	100.0%



その他内訳

売却	17件
未定・検討中	14件
解体	13件
その他	8件
賃貸中	7件

※カテゴリ分類できた上位件数のみ記載

#### 【問12】今後、川越市であつたら良いと思う制度(複数選択可)

	件数	割合
①解体に対する助成金	264件	26.9%
②修繕費用に対する助成金	121件	12.3%
③維持管理に対する助成金	127件	12.9%
④解体や修繕、維持管理にかかる業者の紹介	94件	9.6%
⑤賃貸・売却に係る情報提供(空き家バンク)	124件	12.6%
⑥相談窓口の設置	133件	13.6%
⑦特にな	96件	9.8%
⑧その他	22件	2.2%
計	981件	100.0%



その他内訳

制度や法律の改正	6件
相談窓口	5件
自治体から業者の斡旋	3件
助成金、補助金	2件

※カテゴリ分類できた上位件数のみ記載

## 第3章 調査結果の分析

### 1. 空家等件数

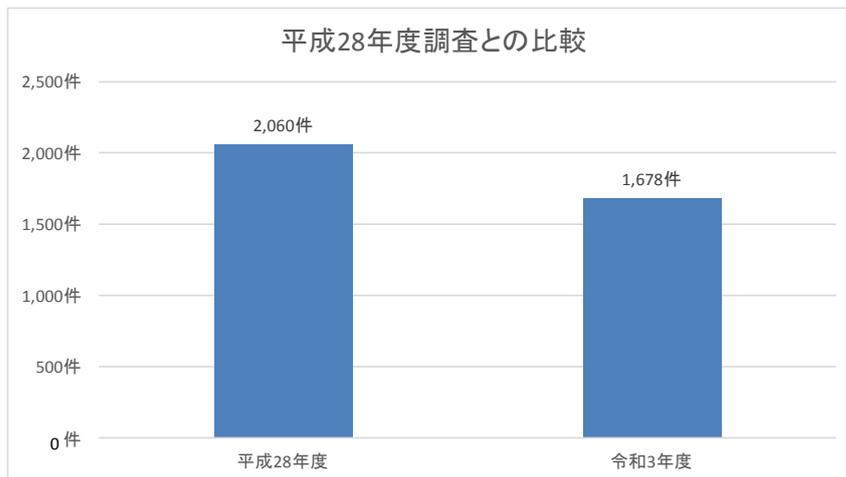
#### (1) 空家等件数

空家等実態調査において、「想定空家等（空家等の可能性が高い建物）」とした2,434件から、空家等所有者等意向調査の所有者特定作業の中で居住実態等があることが判明した219件と、アンケート調査で「空き家ではない」との回答があった537件を除き、最終的に川越市内の空家等件数は1,678件となった。

【算出】	想定空家等（空家等の可能性が高い建物）	2,434件 …①
	居住実態等があることが判明したもの	219件 …②
	アンケートで「空家ではない」と回答があったもの	537件 …③
	空家等件数（①-②-③）	1,678件

#### (2) 平成28年度調査との比較

前回調査（平成28年度川越市空き家等実態調査）では、空家等件数が2,060件であったのに対し、今回の調査では1,678件となり、382件減少した。



## 2. 自治会別空家等集計

空家等1,678件について、自治会別件数を前回(平成28年度調査)件数と共に、以下のとおり記す。

【参考】平成28年度調査時の空家等件数:2,060件

### ■本庁管内空家等集計

(件)

地区名	自治会名	件数	前回件数	増減	合計	前回計	合計増減
第1支会	喜多町	2	1	▲1	56	77	▲21
	志多町	4	5	▲1			
	神明町	16	20	▲4			
	宮下町1丁目	4	8	▲4			
	宮下町2丁目	5	9	▲4			
	宮元町	20	26	▲6			
	城下・氷川町	5	8	▲3			
第2支会	石原町1丁目	6	7	▲1	34	44	▲10
	石原町2丁目	7	12	▲5			
	幸町	2	2	0			
	末広町1丁目	3	5	▲2			
	末広町2丁目	1	3	▲2			
	末広町3丁目	7	10	▲3			
	仲町	5	5	0			
	元町2丁目	3	0	▲3			
	第3支会	上野田町	5	8			
田町		1	2	▲1			
野田町1丁目		12	8	▲4			
野田町2丁目		1	1	0			
東田町		2	6	▲4			
今成1丁目		6	2	▲4			
今成2・3丁目		7	14	▲7			
今成4丁目		11	22	▲11			
小ヶ谷		17	5	▲12			
小室町		12	7	▲5			
第4支会	大手町	7	7	0	39	64	▲25
	久保町	2	3	▲1			
	郭町1丁目	8	9	▲1			
	郭町2丁目	2	6	▲4			
	三久保町	9	16	▲7			
	松江町1丁目	5	14	▲9			
	松江町2丁目	2	0	▲2			
	元町1丁目	3	5	▲2			
	杉下町	0	0	0			
	伊佐沼新町	1	4	▲3			
第5支会	小仙波町1丁目	1	7	▲6	23	45	▲22
	小仙波町2丁目	6	4	▲2			
	小仙波町3丁目	3	3	0			
	小仙波町4丁目	0	3	▲3			
	小仙波町5丁目	2	10	▲8			
	西小仙波町1丁目	3	5	▲2			
	西小仙波町2丁目	8	13	▲5			
第6支会	新富町1丁目	0	0	0	5	17	▲12
	新富町2丁目	0	2	▲2			
	通町	3	3	0			
	南通町	1	7	▲6			
	脇田町	1	5	▲4			
第7支会	仙波町1丁目	3	2	▲1	36	47	▲11
	仙波町2丁目	11	10	▲1			
	仙波町3丁目	7	13	▲6			
	仙波町4丁目	6	6	0			
	富士見町	2	5	▲3			
	菅原町	4	8	▲4			
	大仙波	3	3	0			
第8支会	岸町1丁目	21	14	▲7	35	38	▲3
	岸町2丁目	8	11	▲3			
	岸町3丁目	6	13	▲7			
第9支会	旭町1丁目	5	11	▲6	36	52	▲16
	旭町2丁目	2	4	▲2			
	旭町3丁目	21	25	▲4			
	広栄町	2	2	0			
	脇田新町	5	8	▲3			
	脇田本町	1	2	▲1			
第10支会	三光町	8	5	▲3	30	46	▲16
	月吉町	4	5	▲1			
	中原町1丁目	3	11	▲8			
	中原町2丁目	3	7	▲4			
	連雀町	5	6	▲1			
	六軒町1丁目	1	2	▲1			
	六軒町2丁目	4	5	▲1			
	野田月吉町	2	5	▲3			
第11支会	新宿町1丁目	5	4	▲1	35	56	▲21
	新宿町2丁目	5	9	▲4			
	新宿町3丁目	3	3	0			
	新宿町4丁目	3	6	▲3			
	新宿町5丁目	5	5	0			
	新宿町6丁目	14	29	▲15			
本庁管内合計					403	561	▲158

すべての支会において前回調査より減少しており、8割以上の支会で2桁の減少となっている。本庁管内全体では前回調査の72%となっている。

■芳野地区空家等集計

(件)

地区名	自治会名	件数	前回数	増減	合計	前回計	合計増減
芳野地区	北田島	4	4	0	23	34	▲ 11
	谷中	2	5	▲ 3			
	菅間上	0	0	0			
	菅間中・下	2	2	0			
	石田本郷	3	8	▲ 5			
	石田本郷新田	0	0	0			
	鴨田第1	4	8	▲ 4			
	鴨田第2	2	1	1			
	鴨田第3	0	0	0			
	伊佐沼	1	0	1			
	鹿飼	1	1	0			
	上老袋	2	2	0			
	中老袋	1	2	▲ 1			
	自治会区域外	1	1	0			

前回調査から大きく増加している自治会はなく、芳野地区全体では、前回調査の68%となっている。

■古谷地区空家等集計

(件)

地区名	自治会名	件数	前回数	増減	合計	前回計	合計増減
古谷地区	二ノ関	1	3	▲ 2	24	42	▲ 18
	沼端	1	3	▲ 2			
	宿	4	9	▲ 5			
	堀之内	0	0	0			
	古川端	1	2	▲ 1			
	黒須	1	2	▲ 1			
	蔵根	0	6	▲ 6			
	古谷本郷上	5	4	1			
	古谷本郷下	1	2	▲ 1			
	小中居	4	3	1			
	大中居	3	2	1			
	高島	1	0	1			
	八ツ島	0	0	0			
	下老袋	2	5	▲ 3			
	東本宿	0	1	▲ 1			
グリーンフィールド	0	0	0				

前回調査から大きく増加している自治会はなく、古谷地区全体では、前回調査の57%となっている。

■南古谷地区空家等集計

(件)

地区名	自治会名	件数	前回数	増減	合計	前回計	合計増減
南古谷地区	南田島	1	3	▲ 2	86	128	▲ 42
	牛子	5	7	▲ 2			
	木野目	4	2	2			
	並木	9	7	2			
	今泉	5	4	1			
	上久下戸	5	11	▲ 6			
	下久下戸	0	2	▲ 2			
	宮本	1	4	▲ 3			
	萱沼	0	2	▲ 2			
	渋井	3	2	1			
	古市場	22	26	▲ 4			
	南古谷団地	2	5	▲ 3			
	さくら堤	3	8	▲ 5			
	川越ハイツ	6	16	▲ 10			
	わかば台	14	18	▲ 4			
	木野目藤木	6	9	▲ 3			
	あゆみ	0	0	0			
	河原町	0	1	▲ 1			
	あすなろ	0	1	▲ 1			
	泉	0	0	0			

7割以上の自治会で前回調査より減少しており、特に川越ハイツ自治会は2桁の減少となっている。南古谷地区全体では、前回調査の67%となっている。

■高階地区空家等集計

(件)

地区名	自治会名	件数	前回件数	増減	合計	前回計	合計増減
高階地区	藤間原	4	5	▲ 1	335	345	▲ 10
	藤間上	14	14	0			
	藤間中	0	1	▲ 1			
	藤間下	4	1	3			
	藤間東	10	13	▲ 3			
	富士ヶ丘	6	11	▲ 5			
	藤間南	31	22	9			
	稲荷町	18	19	▲ 1			
	熊野町	7	8	▲ 1			
	清水町	4	5	▲ 1			
	諏訪町	6	6	0			
	藤原町	7	12	▲ 5			
	富士見	18	14	4			
	寺尾第1	19	16	3			
	寺尾第2	18	12	6			
	寺尾第3	22	14	8			
	寺尾第4	29	22	7			
	砂新田下	3	5	▲ 2			
	砂新田南	12	17	▲ 5			
	武蔵野	13	23	▲ 10			
	五ツ又	20	23	▲ 3			
	砂新田1丁目	5	8	▲ 3			
	砂新田若樹	2	3	▲ 1			
	砂新田3丁目	10	14	▲ 4			
	砂第1	14	14	0			
	砂第2	10	10	0			
	砂第3	4	5	▲ 1			
	砂弁天	6	8	▲ 2			
	高砂	6	13	▲ 7			
	新河岸	7	4	3			
旭住宅	5	0	5				
砂新田2丁目	1	2	▲ 1				
自治会区域外	0	1	▲ 1				

6割以上の自治会で前回調査より減少しており、増加している自治会においても1桁の増加に留まっている。高階地区全体では、前回調査の97%となっている。

■福原地区空家等集計

(件)

地区名	自治会名	件数	前回件数	増減	合計	前回計	合計増減
福原地区	下赤坂上	11	10	1	124	160	▲ 36
	下赤坂下	1	3	▲ 2			
	大野原	8	11	▲ 3			
	武蔵町	8	9	▲ 1			
	中福南	2	5	▲ 3			
	中福北	2	3	▲ 1			
	上松原	8	16	▲ 8			
	下松原上	5	3	2			
	下松原下	2	2	0			
	今福上	8	6	2			
	今福下	10	6	4			
	今福原	15	22	▲ 7			
	霞町	6	14	▲ 8			
	中台元町	9	6	3			
	中台	2	10	▲ 8			
	中台南	8	9	▲ 1			
	砂久保	10	7	3			
	中台つつじヶ丘	4	6	▲ 2			
	今福北	5	12	▲ 7			

下赤坂下自治会、中福南自治会、上松原自治会、霞町自治会、中台自治会、今福北自治会で前回調査から50%以上減少し、福原地区全体では、前回調査の78%となった。

■大東地区空家等集計

(件)

地区名	自治会名	件数	前回件数	増減	合計	前回計	合計増減
大東地区	南大塚	37	44	▲ 7	164	192	▲ 28
	向ヶ丘	0	1	▲ 1			
	緑ヶ丘	11	11	0			
	大塚新田	42	38	4			
	寿町1丁目	21	19	2			
	寿町2丁目	0	0	0			
	豊田町	3	16	▲ 13			
	豊田本	2	6	▲ 4			
	池辺	4	2	2			
	大袋	13	15	▲ 2			
	増形	2	0	2			
	日東町	5	11	▲ 6			
	大袋新田	6	6	0			
	山城	1	2	▲ 1			
	高橋	1	2	▲ 1			
	藤倉	2	1	1			
	猪鼻	4	4	0			
	かし野台	5	3	2			
南台2丁目	3	9	▲ 6				
南台3丁目	2	2	0				

豊田町自治会で2桁の減少となるなど、前回調査から減少している自治会が半数近くあり、大東地区全体では、前回調査の85%となっている。

■霞ヶ関地区空家等集計

(件)

地区名	自治会名	件数	前回件数	増減	合計	前回計	合計増減
霞ヶ関地区	的場下組	14	16	▲ 2	163	199	▲ 36
	的場中組	11	15	▲ 4			
	的場上組	18	12	6			
	安比奈新田	7	9	▲ 2			
	大町	7	8	▲ 1			
	芳地戸	0	1	▲ 1			
	新町	2	3	▲ 1			
	本町	1	2	▲ 1			
	協栄	3	0	3			
	西部	3	5	▲ 2			
	大笠	9	11	▲ 2			
	上野	12	11	1			
	倉ヶ谷戸	13	15	▲ 2			
	川越グリーンタウン	5	10	▲ 5			
	山伝	22	28	▲ 6			
	水久保	7	6	1			
	かすみ野	18	26	▲ 8			
	笠幡台	4	5	▲ 1			
	的場1丁目	2	8	▲ 6			
	的場2丁目	4	8	▲ 4			
花の街	1	0	1				
笠幡の森	0	0	0				

7割以上の自治会で前回調査から減少し、霞ヶ関地区全体では、前回調査の82%となっている。

■霞ヶ関北地区空家等集計

(件)

地区名	自治会名	件数	前回件数	増減	合計	前回計	合計増減
霞ヶ関北地区	霞ヶ関北	48	78	▲ 30	97	155	▲ 58
	霞ヶ関東急ニュータウン	13	31	▲ 18			
	霞ヶ関東	11	13	▲ 2			
	霞ヶ関西	12	9	3			
	みなみ	8	13	▲ 5			
	伊勢原町1丁目	2	4	▲ 2			
	伊勢原町2丁目	1	2	▲ 1			
	伊勢原町3丁目	0	5	▲ 5			
	伊勢原町4丁目	2	0	2			
	伊勢原町5丁目	0	0	0			

霞ヶ関北自治会、霞ヶ関東急ニュータウン自治会において、前回調査からそれぞれ2桁減少しており、霞ヶ関地区全体で前回調査の63%となっている。

■名細地区空家等集計

(件)

地区名	自治会名	件数	前回件数	増減	合計	前回計	合計増減
名細地区	鯨井	4	4	0	155	153	2
	上戸	17	11	6			
	吉田	4	8	▲4			
	みよしの	7	8	▲1			
	天沼新田	10	11	▲1			
	小堤	9	11	▲2			
	小堤区	9	4	5			
	天金山	1	3	▲2			
	下広谷北	6	6	0			
	下広谷南	30	36	▲6			
	下小坂	3	1	2			
	平塚	0	3	▲3			
	平塚新田	2	1	1			
	鯨井新田	3	3	0			
	みどり会	25	20	5			
	広谷新町	7	10	▲3			
	住友あおい	2	2	0			
	つくし	5	2	3			
	ファミリータウン春日	4	1	3			
	小堤東団地	7	8	▲1			
天沼新田グランシア	0	0	0				

半数近くの自治会で前回調査から減少し、名細地区全体では、2件の増加に留まっている。

■山田地区空家等集計

(件)

地区名	自治会名	件数	前回件数	増減	合計	前回計	合計増減
山田地区	上寺山	12	11	1	91	78	13
	寺山	4	6	▲2			
	福田	20	6	14			
	山田西町	6	8	▲2			
	北山田	4	6	▲2			
	南山田	29	31	▲2			
	府川	10	8	2			
	石田	6	2	4			

半数の自治会で前回調査から減少したが、山田地区全体では、前回調査の117%、13件の増加となっている。

■川鶴地区空家等集計

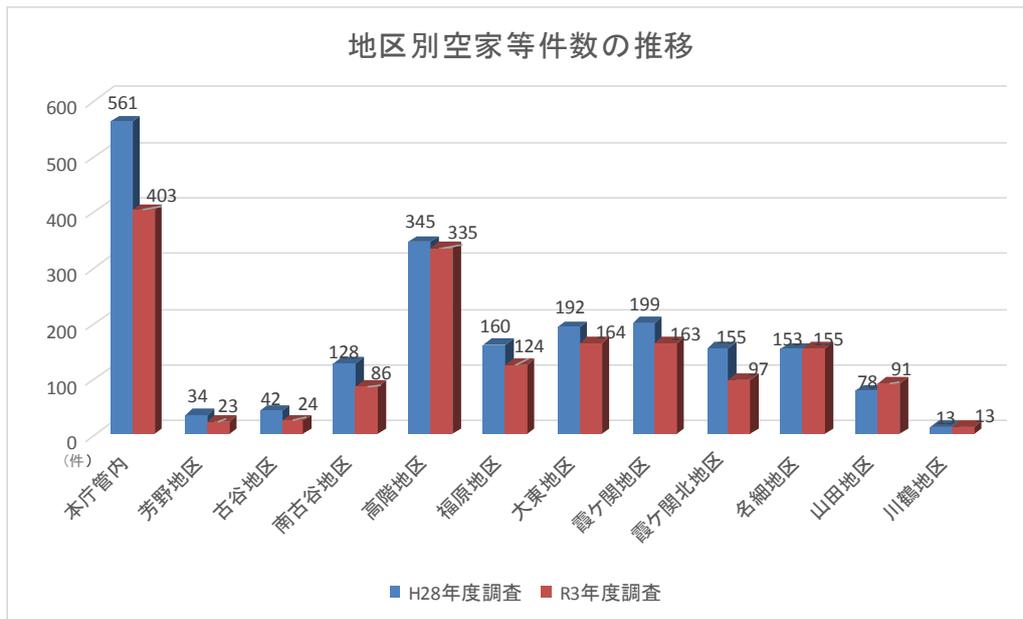
(件)

地区名	自治会名	件数	前回件数	増減	合計	前回計	合計増減
川鶴地区	川鶴	5	7	▲2	13	13	0
	吉田新町	8	6	2			

川鶴地区全体では、前回調査から件数に増減はない。

### 3. 地区別空家等集計

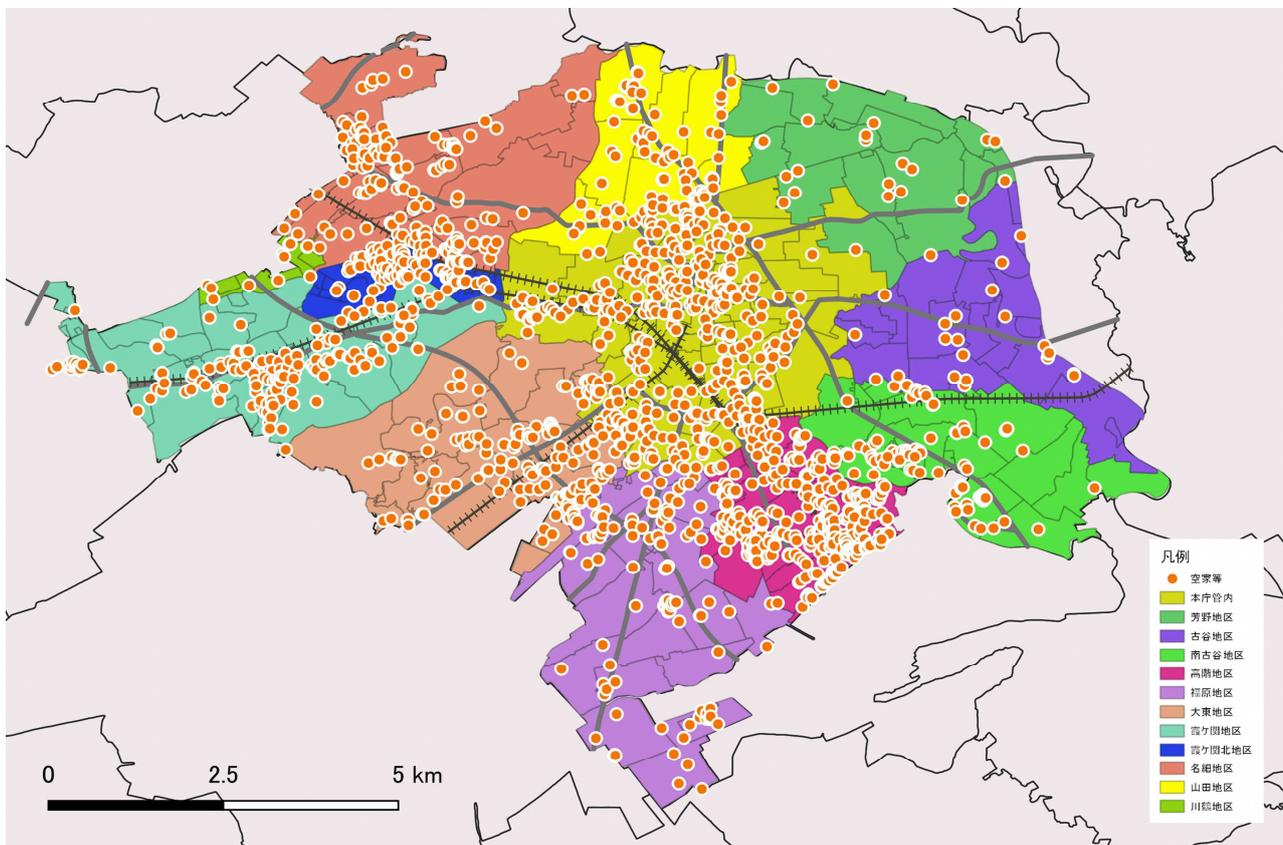
地区別空家等件数について、前回調査(平成28年度調査)からの推移を以下のとおり記す。  
【参考】平成28年度調査時の空家等件数:2,060件



山田地区において、前回調査から空家等件数が若干増加したが、それ以外の地区においては、空家等件数は減少またはほぼ増減なしの結果となっている。また、空家等件数の減少数としては、本庁管内が最も多かった。

### 4. 空家等分布図

空家等1,678件について、川越市内における分布状況を以下のとおり記す。



空家等の分布傾向として、主に川越市中心部の本庁管内、西部の霞ヶ関地区と霞ヶ関北地区、南東部の高階地区に空家等が集中している。一方、北部の芳野地区、東部の古谷地区、南部の福原地区は、空家等が点在している。  
また、前回の平成28年度調査時と比較してみると、全体として382件空家等が減少しているものの、分布傾向に変化はない結果となっている。

# 川越市空家等実態調査報告書【概要版】

令和4年6月発行

川越市役所 市民部 防犯・交通安全課  
〒350-8601 川越市元町 1-3-1  
電話 049-224-8811（代表）